

令和5年度 環境で地域を元気にする 地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業

第2回意見交換会（成果共有会） 発表資料

活動団体名：ななおSDGsスイッチ（事務局：のと共栄信用金庫）

活動地域：石川県七尾市

今年度取り組んだ事業

『ローカルSDGs・ESD推進による「観光教育×EBPM」プロジェクト』の全体像

魅力的なスポットを調査・取材・掘り起し

<パイロットモデル>
七尾市

①【高校生向け】
能登SDGs市民大学



アウトプット

②【市民向け】
スポット掘り起し企画



アウトプット



③【市民向け】
フィードバックフォーラム



50スポットを厳選



各スポットのストーリー作成・音声収録

④ 音声ガイドシステム開発・サービス開始

⑤ 域外客が多く訪れるマラソン大会で周知

訪れた観光客の属性・周遊データを収集

データに基づき、観光客向けの事業構築、
サービスや商品のブラッシュアップ等を実施

能登9市町へ広域化していきたい

今年度取り組んだ事業

『2023年度プロジェクト体制図』

スイッチチーム

観光チーム

域内連携

〈なおSDGsスイッチ参画組織〉
産官学金民9団体

- ・のと共栄信用金庫 ふるさと創生部（全体事務局）
⇒ プロジェクト全体統括・予算執行業務
⇒ 能登SDGs市民大学（EBPMフォーラム）運営業務
- ・七尾市役所 企画政策課 交流推進課
⇒ SDGs未来都市計画運動調整・運営協力・EBPM
- ・七尾商工会議所
⇒ 市補助金管理団体・運営協力・EVI活用支援
- ・能登鹿北商工会
⇒ 運営協力・EVI活用支援
- ・日本政策金融公庫 金沢支店
⇒ 運営協力・カルテット出張授業運営主担
- ・中小企業基盤整備機構 北陸本部
⇒ 運営協力 等
- ・東京海上日動火災保険
⇒ 運営協力 等
- ・金沢大学
⇒ 運営協力 等
- ・七尾青年会議所 未来ビジョン実現推進実行委員会
⇒ 能登SDGs市民大学（観光教育ワークショップ）
運営業務

支援

地元高校

〈事業対象者〉

- ・石川県立七尾高等学校
文系フロンティア学科1年生
⇒ 能登SDGs市民大学
（ワークショップ）
テーマ：観光教育・ESD
- ・七尾市内一般市民
⇒ 市民向け公募事業
⇒ 能登SDGs市民大学
（フォーラム）
テーマ：EBPM

事業

事業

アウトプット

〈アウトプット事業化〉

- ・観光音声ガイドツール
「おともたび」七尾エリア版
- ・観光客動向データ収集開始

活用

開発

〈七尾市観光教育推進事業チーム〉
観光・教育分野9団体

- ・能登半島広域観光協会
⇒ 観光教育ワークショップ運営統括
⇒ 観光デジタルマップ制作運営統括・次年度運営調整
⇒ 観光団体等調整業務
- ・なお・なかのとDMO
⇒ 運営協力・団体調整・広報協力・自主事業運動 等
- ・和倉温泉観光協会
⇒ 運営協力・団体調整・広報協力・自主事業運動 等
- ・和倉温泉旅館協同組合
⇒ 運営協力・団体調整・広報協力・自主事業運動 等

域外連携

システム会社

〈システム開発（観光デジタルコンテンツ化）〉

- ・株式会社Otono（静岡県事業者）
⇒ ワークショップアウトプットの「おともたび」実装
⇒ 事業者および行政等向けエビデンス提供（オープンデータ）

支援

〈バックアップ支援組織〉

環境省大臣官房地域政策課地域循環共生圏推進室・三菱UFJリサーチ&コンサルティング・中部環境パートナーシップオフィス

中部地方環境事務所・地球環境パートナーシッププラザ・中部地方ESD活動支援センター・金融庁監督局総務課地域金融支援室地域課題解決支援チーム

今年度取り組んだ事業

組織の枠組みを越えて行動できる3年目のプロジェクトチーム



今年度取り組んだ事業

事業Ⅰ：能登SDGs市民大学ワークショップ編

【事業Ⅰ】能登SDGs市民大学3rd season～ワークショップ編～

ミッション：『和倉温泉の宿泊客が七尾市全域を周遊したくなるオススメスポットを調査せよ！』

テーマ：ローカルSDGs・ESD・観光教育・EBPM

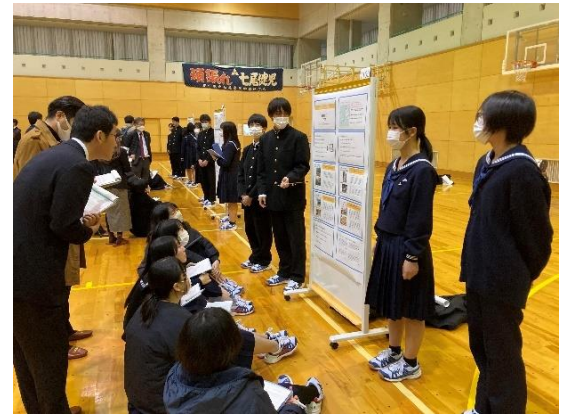
開催時期：2023年10月23日～12月21日 開催回数：13回（50分授業×17コマ）※学校都合により14回⇒13回へ 開催場所：石川県七尾高等学校

受講対象：石川県七尾高等学校文フロ1年生 開講形式：座学・ワークショップ・フィールドワーク・発表報告会 主担当：JCI七尾未来ビジョン推進実行委員会

No.	開催日	授業時間	概要	詳細	備考
1	10月23日(月④) ※45分	11:25～12:10	概論・説明・オリエンテーション	・2学期の「総合的な探究の時間」の概要、スケジュール等説明 ・主要ステークホルダー自己紹介	
2	10月25日(水②)	9:40～10:30 (9:30～休憩時間)	インプット講座Ⅰ	・講義Ⅰ：観光の意義、マーケティングの重要性(事例ベース) ・講義Ⅱ：SDGs(事例ベース)	講義Ⅰ講師：大橋氏 講義Ⅱ講師：入口氏
3	10月30日(月⑤)	13:15～14:05	インプット講座Ⅱ	・おともたび：音声観光マップによるまちづくり事例 ・音声ガイドの「ツボ」講座	講義Ⅰ講師：Otono 青木氏 講義Ⅱ講師：あらまほし 戸田氏
4	11月1日(水②)	9:40～10:30 (9:30～休憩時間)	事前学習Ⅰ	・事前課題(宿題)として担当エリアの候補地情報を収集 ・対象エリア地元JCMメンバーへのヒヤで、各エリアの観光情報収集・整理	JC・ななおSDGsスイッチ参画者・地元民等
5	11月6日(月②)	9:40～10:30 (9:30～休憩時間)	事前学習Ⅱ	・JCヒヤリング後に4スポットの候補列挙(6～8スポット、ルートも考慮) ・フィールドワーク先の情報収集・整理	
6	11月15日(水②)	9:40～10:30 (9:30～休憩時間)	事前学習Ⅳ	・フィールドワーク行程検討・ヒヤリング準備&練習(フィールドワークの目的整理) ・フィールドワーク先のアポイント	
7	11月22日(水③④)	10:40～12:30 (13:15昼休み終わり)	フィールドワークⅠ	・ヒヤリングによる仮説検証	5エリア×8グループ ※1グループ=2×2
8	11月27日(月②)	9:40～10:30 (9:30～休憩時間)	振り返り・情報整理	・スポット毎の魅力、伝えたい要点再整理 ・観光マップスポット選定の修正	フィールドワークⅠを踏まえた整理修正
9	11月29日(水③④)	10:40～12:30 (13:15昼休み終わり)	フィールドワークⅡ	・ヒヤリングによる仮説再検証	5エリア×8グループ ※1グループ=2×2
10	12月6日(水②)	9:40～10:30 (9:30～休憩時間)	情報整理・発表資料準備Ⅰ	・スポット毎の魅力、伝えたい要点再整理→4スポットの選定 ・4スポットの紹介原稿作成スタート、整理	
11	12月11日(月②)	9:40～10:30 (9:30～休憩時間)	情報整理・発表資料準備Ⅱ	・紹介原稿作成、整理→原稿完成(→Otonoチェックへ) ・成果発表に向けた原稿・資料作り(ポスター、スライド作り)	
12	12月18日(月②)	9:40～10:30 (9:30～休憩時間)	発表資料準備Ⅲ	・成果発表に向けた原稿・資料作り(ポスター、スライド作り) ・発表練習	
13	12月21日(木②③)	9:40～11:30	調査結果発表会(校内向け)	・各グループによる調査結果発表	

(1) 情報インプットフェーズ ⇒ (2) 課題発見&解決仮説設定フェーズ ⇒ (3) 実践フェーズ
⇒ (4) まとめ&発表フェーズ ⇒ (5) アウトプット(ナレーション文&音声収録)フェーズ

今年度取り組んだ事業



今年度取り組んだ事業

七尾市の観光スポット40カ所分のナレーションが完成し、放送部によるテスト収録を開始

【能登島】：チーム「アイスを愛す」 周遊提案タイトル：「1人エンジョイ」

No.	スポット名	音声ガイド原稿①（1分前後・約300文字）
17	みず	<p>ここはお食事処みずです。名前の由来は店主の水口さんから来ていて、20年前以上前から営業しています。建物自体は昭和の頃からあり、最初はお食事処ではなく、カキ小屋だったそうです。店内は昔ながらといった感じの雰囲気でもとても落ち着きます。今の店主さんは前店主さんのお孫さんにあたる方でとてもやさしい方です。お食事処みずは観光客に人気なのはもちろんのこと、常連さんも多くいらっしゃるとのこと。お昼ごろになるとたくさんのお客さんで店内がごった返すそうです。お食事処みずについてもっと詳しく聞きますか？</p>
		<p>音声ガイド原稿②（1分前後・約300文字）</p> <p>お食事処みずは創業20年以上の海鮮料理店です。観光客に人気なメニューは主に海鮮だそうです。常連のお客さんは鶏肉など海鮮系以外も食べるそうです。夏の時期にはツーリング客が多く、刺身、冬の時期にはカキがメインメニューだそうです。ここは珍しく、カキが一個から食べれるそうです。平日には仕事終わりや休憩の時間に来る人が多く、休日は観光客が多いです。コロナ禍で利益がかなり減ったそうですが、いまでは徐々に回復しており、現在でもたくさんのお客さんが来ています。お昼の11時30頃と朝方に多くお客さんがいるため、その時間帯を避けていくとゆっくり食事ができるかもしれません。</p>
No.	スポット名	音声ガイド原稿①（1分前後・約300文字）
18	愛宕神社	<p>ここは愛宕神社です。場所は向田町というところにあります。愛宕神社は全国各地にあり、石川県だけでも12カ所もあります。昔、大ダコが家の上にかぶさり火を燃え移るのを防いだことから、住民の間で「タコ神社」「タコガンサマ」と呼ばれています。愛宕神社は火産霊命を主祭神として祀っていて、「火防の神様」がいます。火産霊命は火に関するものと防火・防災、恋愛や縁結とともに商売繁盛などの御利益があると知られています。また、向田町のちかくの曲町に地元の方おすすめの絶景スポットがあります。そこは一見何もないところですが、朝日や夕日がとてもきれいにみれます。もうすこし詳しく聞きますか？</p>
		<p>音声ガイド原稿②（1分前後・約300文字）</p> <p>愛宕神社は向田町の少し坂を上ったところにある、無人の神社です。昔、向田にある中屋家の祖先・三郎助が、大ダコに乗って現れた八幡様を祠というものに奉りました。そのころ、向田では火事が相次ぎましたが、不思議と中屋家は燃えませんでした。その理由は、大ダコが屋根に乗って火災から中野屋を守ったからです。それ以来、中屋家ではタコを一切食べなくなりました。そのタコがんさまが祭られているのが愛宕神社です。この話は、日本財団が推進する「海ノ民話のまちプロジェクト」で海を畏れ、海を敬ってきた日本の心を子どもたちに継承してもらう狙いで、2023年度にアニメ化されます。ぜひ、見てみてください。</p>

観光スポットのナレーション事例

今年度取り組んだ事業

事業Ⅱ：マニアック観光スポット投稿事業

【投稿に係る事項について】

- ・開催時期：2023年12月8日～12月24日
- ・投稿対象者：七尾市民及び七尾の関係人口等
- ・対象スポット：穴場観光スポット
(モノ・ヒト・バショ・オト・コト・カオリ等制限無)

・実施手法：

- ① QRコード読み取りによるフォーム入力
- ② 投稿も簡単で、スマホさえあれば気軽に投稿可能
- ③ 投稿スポット数の制限はなし

・周知手法：

- ① 七尾市内全世帯（約2万世帯）に新聞折込
- ② SNSでの投稿呼びかけ
- ③ 市内各所でのポスター掲示

【投稿結果】

- ・投稿スポット数 のべ120件
- ・詳細分析やスポット現地確認、10件への絞り込み
審査会は能登半島地震により実施することができず。

マニアックな観光スポット!
「モノ・コト・ヒト・場所」など
本当は教えたくない!
可憐だけの七尾市のステキな

マニアック スポット

スマホで投稿!
最短60秒で
投稿できる!

投稿は
コチラから

マニアックスポットを
調査している理由は
コチラから

投票期間 12月8日(金)～12月24日(日)
結果発表 2月3日(土) 場所 七尾美術館アートホール会場にて

■主催/ななおSDGsスイッチ【構成機関:七尾市、(大)金沢大学、七尾商工会議所、能登商工会、のち共栄信用金庫、(株)日本政策金融公庫金沢支店、(株)中小企業基盤整備機構北陸本部、東京海上日動火災保険(株)、(一社)七尾青年会議所】
■共催/(一社)能登半島広域観光協会、(一社)七尾青年会議所
■本件に関するご連絡先/ななおSDGsスイッチ事務局(のち共栄信用金庫内) 〒926-8601 石川県七尾市物部町35番地 TEL:0767-54-0594

今年度取り組んだ事業

No.	七尾市の観光マニアックスポット	オススメの理由・マニアックな理由
68	野見さんのパパイア畑（七尾市下町）	雪国でパパイア…？と某国営テレビでも紹介された、今のところおそらく日本最北のパパイア畑！果物でなく野菜として収穫されることもマニアック！
69	七尾海員学校跡地	七尾ベイモールの入口に石碑がある。そこには当時の校歌が書かれている。七尾の、そして日本の海運業界の歴史を感じられる。
70	あおぞら薬局徳田店付近の県道（七尾鹿島羽咋線）	この辺りから見える夕陽がとても綺麗です！
71	とよたの川沿い	桜が咲くとキレイ
72	御祓川にかかる橋（七つ橋めぐり）	君は放課後インソムニアに象徴的に登場する御祓川にかかる7つの橋。一言もしゃべらずに意中の相手と渡ると結ばれるらしい。ちなみに、一つ目の橋は森山個人所有。
73	矢田郷公民館の永田さん	県外からの方なのに七尾市民より城山に登っていて七尾に詳しい
74	幻の飛行場「相馬飛行場」	戦時中に整備されたが結局一度も使われることなく終戦を迎えたという飛行場。今は石碑だけが立っている。 https://noto-rennaissance.net/soumaairport/
75	能登島ドルフィンandスイム 海蛸ツアー	詳しく生態系まで教えてくれた
76	そわじ海水浴場から眺める夕日の景色	絶景
77	西岸駅	石川を舞台にしたアニメ作品「花咲くいろは」のモデルになった駅としても有名で、作中の駅名でもある湯乃鷺（ゆのさぎ）という駅看板もホーム内に立っています。駅全体も落ち着いた雰囲気のとてキレイな景色が広がっています。
78	七尾城史資料館	七尾城の麓にある有料の資料館です。日本百名城に認定されている七尾城のスタンプ設置場所であり歴史資料・動画が上映されています。この資料館の奥に藁葺き屋根の懐古館がありますが、そちらも共通に見学できます。ボランティアガイドさんに丁寧な説明をして頂けます。能登にあった飯田家を移築した建物で囲炉裏のある室内・苔のむす中庭・襖絵・古九谷等が展示され石川県の歴史や文化を肌で感じる事ができます。日本の五大山城のひとつと言われている七尾城と、この資料館・懐古館を見学すると七尾まで足を運んで良かったと思えると思います。
79	生そば槐	中庭を眺めながら美味しいおそばをいただける贅沢時間
80	ごはん処 一步	リーズナブル且つボリューム満点！
81	5月のでか山のあとの道に残る油のにおい	あの時期この場所でしか嗅げない香り

マニアックスポットの投稿事例

能登半島地震による事業継続の断念



能登半島地震による事業継続の断念

＜事業を完了できた事業＞

- 事業Ⅰ：能登SDGs市民大学ワークショップ編事業
▶100%完了

＜計画途中で断念となった事業＞

- 事業Ⅱ：マニアック観光スポット投稿事業
▶80%完了（完了作業：市民からスポットを募集するところまで）
- 事業Ⅳ：GPS連動の散策型音声ガイドサービス「おともたび七尾版」システム開発事業
▶7.5%完了（完了作業：開発着手前企画調整作業まで）

＜計画初期で断念となった事業＞

- 事業Ⅲ：能登SDGs市民大学フォーラム編事業
▶0%完了（完了作業：会場・出演者等調整作業まで）
※支出が発生する前に中止判断
- 事業Ⅴ：GPS連動の散策型音声ガイドサービス「おともたび七尾版」利用促進周知事業
▶0%完了（完了作業：市役所との出展ブース調整、協力者日程調整作業まで）
※支出が発生する前に中止判断

今年度の成果と成果が出た要因

<今年度の事業成果>

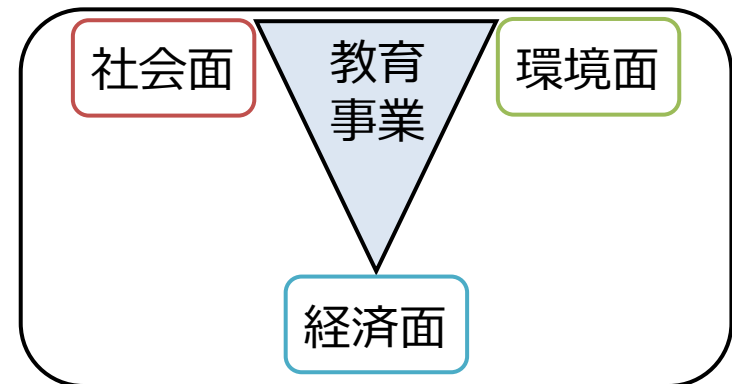
- ① 高等学校や観光団体が新たに連携したことで、組織の新たな目的が生まれ稼働できた。
- ② 事業化する可能性の高い事業の実施にたどり着くことができた。
- ③ サブ事業として実施してきたESDを主とした「地域の未来の担い手」事業に取組めた。

<事業成果が出た要因>

- ① 主体性を持った新たな共創者がジョインし、新たな空気が組織を活性化した。
- ② 推進テーマを街全体を包括するものではなく、事業化する企画にフォーカスしたテーマを設定
- ③ 企画内容に関連性と連続性を持たせ、参画者も理解しやすい事業計画を組み立て



2022年度以前の事業展開



2023年度の事業展開

次年度の展望と必要な取組

＜これからの展望＞

- ① 創造的復興を目的とした長期的な新たな街のビジョンを持ち持続可能なまちづくりを目指す
- ② 七尾市の枠を越え、能登半島全体を一つの地域圏と捉えた循環共創マインド
- ③ 地震により加速する少子高齢化や人口減少を越える生産性の向上
- ④ 里山里海の資源を使うだけでなく、自然に還元しより豊かにする共存共栄の仕組み
- ⑤ ハード・ソフト面において災害や困難に対するレジリエンスが高いまちづくり
- ⑥ 社会（市民・企業・観光客・子ども）、環境（里山里海）、経済が育ち続けるまちづくり

＜必要な取組＞

- ① 環境が激変した今、復興に向け、もう一度MVVを検討・設計
- ② これまでにはなかった合意形成の場を設け、様々な地域関係者で取組む体制を構築
- ③ 具体的な行動指針・基準となるバリューに沿った具体的取組みを検討・実施
- ④ 時勢の変化に柔軟に設定したMVVや企画内容を修正していき長期で推進